

被爆ピアノで繋ぐ ひろしま・ながさき

💡 被爆ピアノ伴奏を収録

10月15日、19歳の若さで亡くなった河本明子さんが愛用していた被爆ピアノを使用し「千羽鶴」の伴奏を収録。収録の際は、音割れを防ぐためにマイク使用や弾き方を工夫しました。伴奏者によると、通常のピアノより鍵盤のタッチが軽く、音がとてもよく通るとのことでした。(写真①)

💡 明子さんのピアノ

原爆の爆風で左側面にガラス片が刺さるなどの被害を受けるも、丁寧に修復され、綺麗な音色が甦りました。現在は広島市平和記念公園内のレストハウスに常設展示されています。このピアノは約100年前につくられたものであり、保存するうえで一番の敵である乾燥を防ぐため、ケースに入れて湿度を管理しています。(写真②)

💡 被爆地の若者の合唱を収録、交流

純心大学、西高校(長崎)とノートルダム清心高校、安田女子高校(広島)の学生が「千羽鶴」を合唱している様子を収録。同時に、羽根の部分に平和に対する思いや願いを書き込んだ折り鶴とメッセージカードを交換し合うことで、双方の交流も行いました。被爆地の若者が交流を行い、共通の『好きなこと』で平和への願いを発信できたことにとても意義を感じました。今回の取り組みが広島、長崎の若者を結ぶきっかけになることを願っています。(写真③)

💡 被爆ピアノと合唱の動画をYouTubeで公開

ぜひ、右(→)のQR(またはURL)からYouTubeをご覧ください。



<https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=CMjKBvV7juk&feature=youtu.be>

